

## 平成21年度 環境省自然再生事業計画について(案)

## I 調査研究・モニタリング等

番号	事業名	概要
1	サンゴ礁保全総合調査	<p>(1)サンゴ群集モニタリング調査(平成17年度～)</p> <p>サンゴ群集の加入量、死亡量、個体の成長速度、被度変化等の個体群変動を把握することを目的として、以下の調査を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①サンゴ礁多様度調査(モニタリングサイト1000の約20地点)</li> <li>②永久調査区サンゴ群集調査(定点調査区31地点)</li> <li>③卵成熟度調査(定点調査区31地点)</li> <li>④サンゴ幼生・一年生稚サンゴの定着量調査(定点調査区31地点)</li> <li>⑤クシハダミドリイシ群体詳細調査(定点調査区31地点)</li> <li>⑥白化調査(定点調査区31地点)</li> </ul> <p>(2)オニヒトデ対策(H17年度～)</p> <p>石西礁湖及び石垣島周辺海域で大発生しているオニヒトデの対策を実施・検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○オニヒトデ分布調査(150地点)</li> </ul> <p>(3)サンゴ群集修復海域モニタリング調査(平成16年度～)</p> <p>平成20年度に見直した採苗区(元保存区・実証区)、再生区の経年変化を把握し、サンゴ群集修復事業を効果的に実施するため、採苗・移植の阻害要因を究明</p> <p>※以下の調査項目は、上記サンゴ群集モニタリング調査と比較検討が可能となるよう必要に応じて再設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①サンゴ群集の被度、群体数、稚サンゴ数</li> <li>②コドラートサンゴ群体調査</li> <li>③魚類群集調査</li> <li>④生息環境</li> </ul> <p>(5)礁斜面モニタリング調査(新規)</p> <p>(6)人工基盤モニタリング調査(平成17年度～)</p> <p>(7)常時モニタリングシステム維持管理及び海況解析(平成20年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①常時モニタリングシステム維持管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小浜島東沖に設置した常時モニタリングシステム(1基)及び受信収録システムの維持管理</li> </ul> </li> <li>②海況解析 <ul style="list-style-type: none"> <li>・収録データから石西礁湖の海況を把握・解析し、他の調査と併せて考察</li> </ul> </li> </ul>

2	<p>持続可能な産業に関する調査(平成17年度～)</p>	<p>(1)海域利用に関する調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①漁場とサンゴの関連性分析 <ul style="list-style-type: none"> <li>・過年度作成した漁場マップ及び漁場カルテを用い、サンゴ分布の変化と漁場の変化の関連性を検討。</li> </ul> </li> <li>②海洋保護区等の経過調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>・八重山漁協による海洋保護区及び体長制限等の取組に関して、利害関係者にヒアリングし、影響、効果、運用上の問題点等について整理。</li> </ul> </li> <li>③持続可能な海域利用の方策検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な海域利用を具体化するための方策を検討。</li> </ul> </li> </ul> <p>(2)海と陸との交流イベント等の開催</p>
3	<p>石西礁湖自然再生事業 実施補助業務</p>	<p>(1)石西礁湖自然再生協議会の開催・運営補助(平成18年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石西礁湖自然再生協議会のグループディスカッション等の支援(平成20年～)</li> <li>・自然再生ポータルウェブサイトの更新(継続)</li> </ul> <p>(2)石西礁湖自然再生事業支援専門委員会の開催・運営補助(平成18年度～)</p>

## II サンゴ群集の修復

番号	事業名	概要
1	サンゴ群集修復工事 (平成17年度～)	○サンゴ幼生着床具種苗を用いた移植 ・工事実施時期は平成21年12月頃を予定 ・移植数は、移植工事前に実施するサンプリング調査により決定
2	サンゴ群集修復工事 監理業務 (平成17年度～)	○上記移植工事に係る施工監理 ①種苗提供 ・海底に設置した着床具の中からサンゴが着床した種苗を選別(可能な限り、各種苗の属名を記録)し、移植種苗として工事請負者に引き渡すとともに、種苗収容運搬指導を行う ②種苗移植 ・移植地点の設定、移植法の指導 ・移植場所(地形、水深、底質、サンゴ生息状況)及び移植種苗の記録、水温、濁度の計測等 ③モニタリング ・対象種苗を設定(移植種苗の10%)し、追跡調査を実施 ・最初のモニタリングは移植1ヶ月後に実施 ・追跡調査では、移植サンゴの属名、長径、生存、死滅状況、活性状況、破損状況、食害状況、藻類繁茂状況、汚泥堆積状況、サンゴをすみかとする魚類等の分布状況、水温、濁度を記録
3	サンゴ群集修復事業 (着床具設置工事) (平成16年度～[試験段階含む])	○着床具の設置 サンゴ群集修復事業に用いる着床具を一斉産卵前に海底に設置

4	<p>サンゴ群集修復事業 (着床具設置工事施工監理業務) (平成17年度～)</p>	<p>(1)上記着床具設置工事に係る施工監理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①着床具設置工事の施工監理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・着床具の設置指導、着床具設置記録</li> </ul> </li> <li>②着床具畜養(設置後、補修等の維持管理を実施。水温の測定)</li> <li>③着床具抽出(9月及び1月に着床具を一部抽出し、採苗率を測定。また、着床サンゴの属名、着床部位、長径を記録)</li> </ul> <p>(2)着床具畜養及びモニタリング(平成20年度設置分)</p> <p>平成20年度に設置した着床具の維持管理を行い、移植種苗数を予測</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年度移植工事の実施2ヶ月前を目処に着床具をサンプリング調査し、移植種苗数を予測</li> </ul> <p>(3)移植種苗の維持管理及びモニタリング(平成17～20年度移植分)</p> <p>過年度移植したサンゴ種苗の維持管理を行い、生残数推定等のための追跡調査を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・追跡調査は、移植後1ヶ月後、3ヶ月後、6ヶ月後、1年後を目処に実施。</li> <li>・移植サンゴの採苗地点、属名、長径、生残、死滅状況、破損状況、食害状況、汚泥堆積状況、サンゴをすみかとする魚類等の分布状況、水温、濁度を記録</li> </ul>
5	<p>サンゴ礁対策実証試験</p>	<p>※当対策実証試験策定業務の結果等も見ながら実施を検討。</p>